

1. 理事会からのお知らせ

(1) 代表理事挨拶

TCER フェローおよび関係者の皆様方には、日頃より TCER の活動にご支援とご協力をいただきまして、心よりお礼申し上げます。昨年 6 月に TCER 代表理事に就きまして、代表理事代理業務執行理事の祝迫得夫先生と会計・研究会担当業務執行理事の大橋和彦先生を中心として理事の先生方とともに、TCER の一層の発展と TCER におけるより良い研究環境の構築のために TCER の活動を推進しております。

現在、以下の事業を推進しております。第一に、NBER、CPER、TCER が共同で開催する TRIO コンファレンスについて、2018 年度は、「Globalization and Welfare Impacts of International Trade」をメインテーマにして東京大学で開催されました。報告論文は国際学術誌 *Journal of the Japanese and International Economies (JJIE)* に刊行されました。2019 年度は、「Financial System」をメインテーマとして 2019 年 7 月 27 日に東京大学で開催されました。

第二に、TCER コンファレンス（旧逗子コンファレンス）については、旧逗子コンファレンスの伝統を受け継ぎ、2 年計画で共同研究を行い、商業出版を行う事業を行います。2017 年度から 2018 年度に進められた共同研究「EBPM の経済学：エビデンスに基づく政策立案の展望」の研究成果が 2019 年度に出版される予定です。また、2019 年度から 2020 年度にかけては、「金融の『大転換』と日本の金融システムの未来」というテーマでプロジェクトが始まりました。2019 年度・2020 年度にワークショップが開催され、その成果が 2021 年度に書籍として出版する予定です。

第三に、TCER=ERIA 出版事業では、ERIA（東アジア・アセアン経済研究センター）の委託を受け、木村福成慶應義塾大学教授と浦田秀次郎早稲田大学教授が中心となって「東アジアの経済統合」と題する 10 冊シリーズの書籍を出版する事業を進めています。2016 年度から毎年度に 1 冊ずつ刊行されてきました。2019 年度は 4 冊目の第 2 巻『アジア総合開発計画・物的インフラ整備』が出版される予定です。

今、グローバル・インバランスの中での米中貿易戦争の拡大、英国の EU からの離脱、米国の金融政策の動向が及ぼすグローバル経済への影響など、グローバル経済及び日本経済は、様々な政治上・政策上の不確実性に直面しています。経済以外の要因が経済を不安定化する様相が高まりつつあり、何らかのショックが起きるとグローバル経済がネガティブに反応する傾向が増しています。TCER は、引き続き、経済学のアプローチからグローバル経済及び日本経済が直面する諸課題及び経済政策による対応について、研究を行い、その研究成果を知見として蓄積し、グローバル経済及び日本経済の問題解決に貢献することをめざして、活動していく所存でございます。皆様におかれましては、引き続き TCER の活動にご支援、ご協力をいただけますよう、よろしく願い申し上げます。

小川英治（代表理事・一橋大学）

(2) 2019年度前半の理事会報告

2019年度第1回理事会は、2019年5月23日(水)14時00分～15時30分、東京経済研究センター事務所において開催されました。平成30年度事業報告書と平成30年度会計報告書が承認されました。

TCER Working Paper シリーズの投稿規程の改定について説明があり、審議の結果承認されました。謝金支給規程の改定について一部については上限額を引き上げる旨説明があり、審議の結果承認されました。パート事務局職員就業規則の改定について定年延長について説明があり、審議の結果承認されました。4名の新規フェローの入会も承認されました。

報告事項としては、各種事業の執行状況について担当理事から報告がありました。その後、TCERのサーバーの現状について説明がありました。また、規程に基づき、2019年6月17日(月)17時～18時に日本工業倶楽部にて評議員会を開催することが承認されました。

(3) 2019年度前半の評議員会報告

2019年度第1回評議員会は、2019年6月17日(月)17時15分～18時00分、日本工業倶楽部で開催されました。平成30年度の事業報告書及び会計報告書が承認されました。報告事項としては、各種事業の執行状況についての報告がありました。その後、WEBページとサーバーについて説明がありました。また、資産運用の方針についての説明がありました。

(4) 2019年度研究助成決定のお知らせ

今年度の個人研究助成には10件の応募がありましたが、予算が100万円ということから3件のプロジェクトを採択、助成することとなりました。

2. コンファレンスご案内・報告

公1 国際的学術研究・交流事業

(1) 2019年度 TCER-NBER EASE30 事業報告

第30回東アジアセミナー(TCER, NBER, 他共催)は、2019年6月6-7日、バンコク(タイ)において、タイ中央銀行(Bank of Thailand)をローカルスポンサーとして、コンファレンス会場はBank of Thailand会議室で開催されました。

本年度のテーマは、"International Trade"で、米中貿易戦争が話題になるなかで、貿易論はタイムリーなトピックとなりました。アン・クルーガー教授(Johns Hopkins University)が特別講演を行いました。日本(TCER派遣)からは、伊藤匡(学習院大学)、小橋文子(青山学院大学)、浦田秀次郎(早稲田大学)、木村福成(慶応義塾大学)、早

川和伸（アジア経済研究所）、大久保敏弘（慶応義塾大学）が論文執筆（共著を含む）・発表者として、伊藤恵子（中央大学）、清水順子（学習院大学）が討論者として、伊藤隆敏（コロンビア大学教授・政策研究大学院大学特別教授）が Andrew Rose との共同オーガナイザーとして参加しました。全部で 13 本の論文が提出され、活発な議論が展開されました。プログラムと発表論文の詳細は、下記 URL をご覧ください。

<https://papers.nber.org/sched/EASE19>

（２）TCER=TIFOフェローシップ事業報告

本フェローシップは、東南アジアの研究者と日本の経済学研究者との間での日本を含めた経済問題に関する共同研究を促進することを目的とし、公益財団法人東芝国際交流財団からの助成を受けて、東南アジアに本拠を置く経済学研究者もしくは東南アジア出身を日本に呼び寄せる資金を提供するもので、2013年度に開始された事業です。

2019年度分は以下2件に助成が決まりました。

①受給者: 佐藤 愛氏（神戸大学）

テーマ: 企業投資に与える銀行のシステミック・リスクの影響と企業のキャッシュ保有との関係

共同研究者: Chaiporn Vithessonthi 氏（Sunway University Business School, Sunway University, Professor）

②受給者: 小原 美紀氏（大阪大学）

テーマ: バブル期以降の日本の貧困の研究

共同研究者: 藤井 朋樹氏（シンガポール経営大学経済学部准教授兼副学部長（学部課程担当））

公２ 学術研究交流促進事業

（１）マイクロ経済分析事業（2019年度 DC コンファレンス）ご案内

第 25 回 DC コンファレンスは、2019 年 10 月 11 日（金）に大阪経済大学にて行われます。本コンファレンスは、マイクロ経済学の理論的アプローチに関する論文を主たる対象に、一般均衡、ゲーム、社会的選択、メカニズム・デザイン、経済動学等の経済理論、国際経済、公共経済、労働経済、金融、産業組織、企業組織等の応用分野で理論モデルに基づく論文も対象にしています。プログラム委員は下記の通りです。詳細は下記 URL をご覧ください。なお、報告論文の投稿は 7 月 31 日（水）に締め切られました。

<http://www.dc.kier.kyoto-u.ac.jp/25thDCConference.html>

プログラム委員

石川 竜一郎（早稲田大学）、梶井 厚志（京都大学）、清水 崇（神戸大学）、関口 格（京都大学）、十河 丈晴（大阪経済大学・オーガナイザー）、橋本 和彦（大阪経済大学・オーガナイザー）、宮川 敏治（大阪経済大学・オーガナイザー）、室岡 健志（大阪大学）

(2) マクロ経済分析事業（2019年度マクロコンファレンス）ご案内

1999年以來、年に1回TCERマクロ・コンファレンスが開催されていますが、第21回TCERマクロ・コンファレンスを2019年11月16日（土）、17日（日）にホテル阪急エクスパークにて下記の要領で開催いたします。

応募〆切は9月15日（日曜日、日本時間）です。報告希望の方は4人の代表兼プロコミ委員に、報告希望の論文をメールの添付ファイルでお送りいただきますようお願いいたします。フルペーパーの提出が望ましいですが、10ページ程度の要旨でもよいとします（ただし、4人のプロコミ委員および討論者宛にフルペーパーを11月1日（金曜日、日本時間）までに提出していただきますようお願いいたします）。

また、希望討論者を2名ご推薦いただきますようお願いいたします。事前に本人の承諾を取っていただく必要はありません。

テーマは特に定めませんが、日本経済の直面する問題に答えようとするマクロの理論・実証研究を特に歓迎します。また選定においては、論文の質が同程度と判断される場合には、若手研究者・大学院生を優先します。論文・プレゼン資料・報告は日本語でも英語でもよいものとします。ただ、オーディエンスには日本語で質問する権利を認める方針ですので、あらかじめご了承ください。採否は10月12日（土）頃までにお知らせいたします。

なお、発表者・討論者・座長の旅費・宿泊費を当方で負担させていただきます。ただし、外国から参加される方の場合は、旅費のお支払いはできない場合がありますが、あしからずご了承ください。多数のご応募をお待ち申し上げます。

代表兼プログラム委員（投稿論文の送付先）

阿部修人（一橋大学） nabe@ier.hit-u.ac.jp
櫻川昌哉（慶応義塾大学） masaya822@gmail.com
敦賀貴之（大阪大学） tsuruga@iser.osaka-u.ac.jp
渡辺努（東京大学） watanabe@e.u-tokyo.ac.jp

※ 4人全員に一斉送信の形でお送りください。

運営委員

塩路悦朗（一橋大学）、西山慎一（神戸大学）

資金提供

TCER (東京経済研究センター)、大阪大学社会経済研究所 (科研 S)、慶應義塾大学経済学部、東京大学金融教育研究センター、一橋大学経済研究所経済社会リスク研究機構

(3) TCER 定例研究会 (2019 年度 TCER 研究会) 報告

2019 年度の TCER 研究会は一橋大学にて行われています。TCER 定例研究会は、フェローの方はいつでも参加できます。今年度前半は以下の通り開催されました。

第 1 回 4 月 2 日 (火) 17:10~18:40

Francesco Zanetti (Oxford University)

State Dependence of Fiscal Multipliers: the Source of Fluctuations Matters

第 2 回 4 月 11 日 (木) 17:10~18:40

武岡則男 (一橋大学)

Information Acquisition with Subjective Waiting Costs

第 3 回 4 月 15 日 (月) 16:00~17:30

森川竜太郎 (一橋大学大学院経営管理研究科博士課程)

Recovered Risk Premium in FX Market

第 4 回 4 月 16 日 (火) 17:10~18:40

松本英彦 (日本銀行)

Foreign Reserve Accumulation, Foreign Direct Investment, and Economic Growth

第 5 回 4 月 18 日 (木) 17:10~18:40

国際交流セミナー共催

Yu Zhou (早稲田大学)

Competitive Equilibria in Matching Models with Financial Constraints

第 6 回 4 月 23 日 (火) 17:10~18:40

池田大輔 (日本銀行)

Monetary Policy, Inflation and Rational Asset Price Bubbles

第 7 回 4 月 25 日 (木) 17:15~18:45

鈴木雅貴 (横浜国立大学)

株式バブルの発生メカニズムとその識別

第 8 回 4 月 25 日 (木) 17:10~18:40

国際交流セミナー共催

Zvika Neeman (Tel Aviv University)

How Bayesian Persuasion can Help Reduce Illegal Parking and Other Socially Undesirable Behavior

第9回 5月7日(火) 17:10~18:40

砂川武貴(神戸大学)

Is Household Heterogeneity Important for Business Cycles?

第10回 5月9日(木) 17:10~18:40

国際交流セミナー共催

Asen Kochov (University of Rochester)

Repeated Games with Endogenous Discounting

第11回 5月13日(月) 16:00~17:30

池田大輔(日本銀行)

TBA

第12回 5月14日(火) 17:10~18:40

佐藤祐己(慶応義塾大学)

Reputation and Fragility

第13回 5月16日(木) 17:10~18:40

津川修一(九州大学)

Envy-free pricing for impure public good

第14回 5月21日(火) 17:10~18:40

渡辺真吾(日本銀行)

Investment-Specific Technology Shocks Revisited

第15回 5月23日(木) 17:10~18:40

国際交流セミナー共催

Jonathan Newton(京都大学)

Conventions under Heterogeneous Choice Rules

第16回 5月28日(火) 17:10~18:40

国際交流セミナー共催

Saleem Bahaj (Bank of England)

Employment and the Collateral Channel of Monetary Policy

第17回 5月30日(木) 17:10~18:40

国際交流セミナー共催

国本隆 (Singapore Management University)

Continuous Implementation with Small Transfers

第18回 6月3日(月) 16:00~17:30

Ruslan Goyenko (McGill University)

TBA

第19回 6月11日(火) 17:10~18:40

脇雄一郎(青山学院大学)

Fiscal Forward Guidance: A Case for Selective Transparency

第20回 6月18日(火) 17:10~18:40

北側透 (University College London)

Robust Bayesian Inference for Macroeconometrics

第21回 6月20日(木) 17:15~18:45

重田雄樹 (東京経済大学)

An Equilibrium Asset Pricing Model with Naive Diversification

第22回 6月20日(木) 17:10~18:40

国際交流セミナー共催

Konrad Grabiszewski (MBSC)

Profiling Players in Dynamic Games: A Mobile Experiment

第23回 6月25日(火) 17:10~18:40

松田一茂 (一橋大学)

Optimal Timing of College Subsidies: Enrollment, Graduation and the Skill Premium

第24回 6月27日(木) 17:10~18:40

国際交流セミナー共催

飯島良太 (Yale University)

Stability and Robustness in Misspecified Learning Models

第25回 7月1日(月) 16:00~17:30

Charles Martineau (Tronto University)

Price Revelation of Fundamentals from Insider Trading: Evidence from Hacked Earnings News

第26回 7月2日(火) 17:10~18:40

共同利用・共同研究拠点研究会共催

Satoshi Tanaka (University of Queensland)

Earnings Growth, Job Flows and Churn

第27回 7月4日(木) 17:10~18:40

国際交流セミナー共催

鎌田雄一郎 (Haas School of Business)

Flash Pass

第28回 7月11日(木) 17:10~18:40

神谷和也 (神戸大学)

A Search and Bargaining Model of Non-degenerate Distributions of Money Holdings

第29回 7月16日(火) 17:10~18:40

祝迫達郎 (大阪大学)

Tariffs and FDI in a North-South product cycle model

第 30 回 7 月 18 日 (木) 17:10~18:40

国際交流セミナー共催

Doh-Shin Jeon (Toulouse School of Economics)

Homophily in social media and news polarization

第 31 回 7 月 25 日 (木) 17:10~18:40

国際交流セミナー共催

Jan Christoph Schlegel (City, University of London)

Equivalent Choice Functions and Stable Mechanisms

編集後記

厳しい暑さが続いておりますが、皆様いかがお過ごしでしょうか。2019 年度 1 号目のニュースレターをお送りいたします。お忙しい中、ご執筆いただいた理事やコンファレンス主催者の方々に感謝申し上げます。今年度も TCER を引き続きよろしくお願いたします。

Newsletter に関するご意見やご感想は代表理事 小川英治 eiji.ogawa@r.hit-u.ac.jp または総務理事 原 ひろみ harahiromi@fc.jwu.ac.jp までご連絡下さい。

=====

公益財団法人 東京経済研究センター

〒102-0072 東京都千代田区飯田橋 1-7-10 山京ビル本館 703 号室

Tel & Fax 03-3239-2524 Email: tcer@mbs.sphere.ne.jp